

(2016年度)

2 日本史問題 (60分)

(この問題冊子は18ページ, 4問である。)

受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで, 問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に, 試験監督者から指示があったら, 解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し, 所定の欄に氏名を記入すること。次に, 解答用紙の右側のミシン目にそって, きれいに折り曲げてから, 受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し, 机上に置くこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら, この問題冊子が, 上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は, HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能, 計算機能, 辞書機能やスマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. 解答は, 解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで, そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき, マーク欄からはみ出したり, 白い部分を残したり, 文字や番号, ○や×をつけたりしてはならない。また, マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 訂正する場合は, 消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり, 破ったりしてはならない。
9. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。ただし、文中には一部空欄になっているところがあるので、歴史的に正しく補って読むこと。

11世紀に入り、開発領主たちは私領の拡張と権利の保護を目的として、退任した国司など土着した貴族に近づき、その郎党になったり、在庁官人となって勢力を拡大し、次第に地域の武士団を形成していった。とくに、中央貴族の系譜に連なる清和源氏や桓武平氏などが各地で頭角を現し、武家として無視できない勢力を形成しつつ、以後の社会情勢の注目点となってゆく。例えば、(ア)に土着していた(イ)⁽¹⁾とその子の頼光・(ウ)兄弟の活躍は顕著で、主に摂関家への奉仕と、その見返りとしての保護を受けながら勢力を拡大していった。

前後して、海外からの不安要因などもあり、武力の必要性を誇示する地方の武士団としてその存在を注目されるようになった彼らは、その武力を評価され、やがて中央に進出したが、特に貴族の系譜を継ぐ清和源氏や桓武平氏の一門は都でも重用され、軍事貴族としての武家を形成し、社会全体に大きな影響力を持つに至った。1028年に(エ)で(オ)がおこると、(ウ)はこの地域を平定し、一族の東国進出の基盤を確立した。さらに、(カ)国の豪族であった(キ)氏が国司と軋轢を繰り返していたが、(ク)は(カ)守になって現地へ赴き、(ケ)国の豪族(コ)氏と協力して(キ)氏を滅ぼした。この事件を前九年合戦と呼び、1051年に始まり(サ)年に終結している。その後、これらの地で勢力を拡大していた(コ)氏一族に内紛がおこると、いわゆる後三年合戦が始まり、(カ)守であった(シ)が介入、藤原(ス)を助けて乱を治めた。この戦いは、1083年に始まり(セ)年に終結している。この結果、現在の岩手県平泉を中心にした奥州藤原氏の支配がこれ以後(ソ)年ほど続くことになる。

問1 文中の(ア)～(ソ)について、それぞれ歴史的にもっとも適切なものを1つ選びなさい。

(ア) ① 山城 ② 上総 ③ 播磨 ④ 近江 ⑤ 和泉
⑥ 摂津

(イ) ① 源頼義 ② 源満仲 ③ 源範頼 ④ 源経基
⑤ 源為朝 ⑥ 源通親

(ウ) ① 頼信 ② 義方 ③ 経基 ④ 成親 ⑤ 義朝
⑥ 惟常

(エ) ① 常陸 ② 上野 ③ 下野 ④ 上総 ⑤ 相模
⑥ 武蔵

(オ) ① 藤原純友の乱 ② 平忠常の乱 ③ 平将門の乱
④ 平高望の乱 ⑤ 藤原秀郷の乱 ⑥ 平国香の乱

(カ) ① 出羽 ② 陸奥 ③ 相模 ④ 安房 ⑤ 阿波
⑥ 常陸

(キ) ① 片倉 ② 安達 ③ 佐竹 ④ 安倍 ⑤ 陸奥
⑥ 陣内

(ク) ① 源義朝 ② 源為義 ③ 源頼義 ④ 源満仲
⑤ 源経基 ⑥ 源義家

(ケ) ① 出羽 ② 陸奥 ③ 蝦夷 ④ 常陸 ⑤ 武蔵
⑥ 相模

(コ) ① 元原 ② 大原 ③ 大衡 ④ 菅原 ⑤ 安原
⑥ 清原

(サ) ① 1059 ② 1060 ③ 1061 ④ 1062 ⑤ 1063
⑥ 1064

(シ) ① 源頼義 ② 源義朝 ③ 源義家 ④ 源義仲
⑤ 源義親 ⑥ 源為義

(ス) ① 秀衡 ② 元衡 ③ 泰衡 ④ 清衡 ⑤ 基衡
⑥ 隆衡

(セ) ① 1086 ② 1087 ③ 1088 ④ 1089 ⑤ 1090
⑥ 1091

(ソ) ① 60 ② 70 ③ 80 ④ 90 ⑤ 100 ⑥ 110

問2 文章中の下線部(1)について、次の問いに答えなさい。

(A) 文中の(イ)の人物がかかわった政治的事件は何か。次の中から1つ
選びなさい。

- ① 薬子の変 ② 安和の変 ③ 応天門の変 ④ 承和の変
⑤ 昌泰の変 ⑥ 阿衡の紛議

(B) (A)の事件で排斥された人物は誰か。次の中から1人選びなさい。

- ① 菅原道真 ② 伴善男 ③ 橘広相 ④ 橘逸勢
⑤ 伴健岑 ⑥ 源高明

(C) (A)の事件が起こったのは西暦何年か。次の中から1つ選びなさい。

- ① 842年 ② 866年 ③ 887年 ④ 901年 ⑤ 969年
⑥ 1019年

(D) 次のうち、(A)の事件と最もかかわりの深い人物は誰か。次の中から1人
選びなさい。

- ① 藤原時平 ② 藤原基経 ③ 藤原道長 ④ 藤原頼通
⑤ 藤原良房 ⑥ 藤原兼家

問3 文章中の下線部(2)について、次の問いに答えなさい。

(E) 沿海州・遼の支配下にあったと考えられる女真族が博多湾に進入して撃退された事件を何と呼ぶか。次の中から1つ選びなさい。

- ① 薬子の変 ② 安史の乱 ③ 安史の変 ④ 壹岐の来攻
⑤ 渤海の侵 ⑥ 刀伊の入寇

(F) (E)の事件解決に功績のあった人物は誰か。次の中から1人選びなさい。

- ① 大江千里 ② 小野篁 ③ 大友黒主 ④ 袴垂保輔
⑤ 藤原保昌 ⑥ 藤原隆家

問4 文章中の下線部(3)について、次の問いに答えなさい。

(G) 地方の反乱として著名ないわゆる承平・天慶の乱のうち、決着の遅かった方を平定した主な2名は誰か。次の中から適切な組み合わせを1つ選びなさい。

- ① 藤原純友と平将門 ② 藤原秀郷と平貞盛
③ 源満仲と平良将 ④ 平貞盛と平良兼
⑤ 藤原秀郷と平維衡 ⑥ 源経基と小野好古

(H) (G)の乱当時の天皇は誰か。次の中から1人選びなさい。

- ① 宇多天皇 ② 醍醐天皇 ③ 村上天皇 ④ 冷泉天皇
⑤ 一条天皇 ⑥ 朱雀天皇

問5 文章中の下線部(4)の事件を題材とした、最も著名な作品について説明した文章として適切なものを次の中から1つ選びなさい。

- ① 絵巻物で作者は常盤光長とされる。
- ② 絵巻物で作者は不明、鎌倉初期の成立で、全7巻が現存する。
- ③ 歴史物語で四鏡の一つ、作者は藤原為経とされる。
- ④ 歴史物語で四鏡の一つ、紀伝体で書かれている。
- ⑤ 軍記物語で作者不詳、日本的漢文体で書かれている。
- ⑥ 軍記物語でかな書き、読み聞かせを意識して作られている。

問6 文章中の下線部(5)の事件を題材とした、最も著名な作品について説明した文章として適切なものを次の中から1つ選びなさい。

- ① 14世紀に成立した絵巻物で絵は飛騨守惟久による。
- ② 絵巻物で高階隆兼の筆とされる。
- ③ 謡曲の一種で、当時の貴紳や武士に広く好まれた。
- ④ 今様の長歌として作られたが現在では断簡のみが残る。
- ⑤ かな書きの軍記物語で、中世説話集の母体になったとされる。
- ⑥ 和様漢文の軍記物語で、『将門記』との関連が指摘されている。

2 次の年表をみて、あとの問いに答えなさい。

- 1133年 平忠盛, (ア)で宋船と交易し, 大宰府と対立する。
- 1167年 ^(a)重源入宋。翌年, 入宋した^(b)栄西らと帰国。
- 1180年 平清盛, 大輪田泊を修築する。
- 1183年 宋人^(c)陳和卿, 東大寺の大仏を鑄造。
- 1187年 栄西, 再び入宋(1191年に帰国)。
..... ①
- 1199年 ^(d)俊苳入宋。
- 1206年 モンゴル(蒙古)帝国成立。チンギス=ハーン即位。
..... ②
- 1231年 蒙古, 高麗に侵入する。
..... ③
- 1246年 (イ)来日。
- 1253年 (イ)を開山として, 建長寺創建。
- 1260年 フビライ=ハーン即位。
..... ④
- 1266年 国書を持参した蒙古使, 巨済島より引き返す。
- 1268年 高麗使, 蒙古の^(e)国書を持ち大宰府に至る。
- 1271年 元朝成立。蒙古使趙良弼ら, 大宰府に至る。
..... ⑤
- 1274年 文永の役。
- 1279年 (ウ)来日。幕府, 元使を博多で斬る。元, 南宋を滅ぼす。
- 1281年 弘安の役。
- 1282年 (ウ)を開山として, 円覚寺創建。
- 1292年 高麗使, 来日し, ^(f)国書を呈上。
- 1299年 (エ), 元の^(g)国書を持ち来日。鎌倉に至り建長寺住持就任。
- 1306年 日本船, 元の慶元(寧波)で貿易。

.....	⑥
1333年 住吉社造営料船, 元より帰国。	
1341年 天龍寺船の派遣決定。翌年派遣。	
.....	⑦
1368年 朱元璋(太祖洪武帝), 元を追い, 明建国。	
1369年 洪武帝, 征西将軍(オ)に <u>国書</u> を呈し, 倭寇禁止を要請。 (h)	
.....	⑧
1392年 高麗滅び, 朝鮮建国。	
1398年 足利義満, 朝鮮使に倭寇禁圧を約する。	
.....	⑨
1402年 足利義満, 倭寇禁圧を命じ, 明使を引見し, <u>国書</u> を受ける。 (i)	
1404年 足利義満, 明使を引見し, 「日本国王」印や永楽勘合を受ける。	
.....	⑩
1419年 応永の外寇。	
1420年 朝鮮使, 足利義持に謁見。	
.....	⑪
1432年 足利義教, 道淵を明に派遣。	
1443年 対馬の宗貞盛, 朝鮮と癸亥約条(嘉吉条約)調印。	
.....	⑫
1477年 琉球の尚真王即位。中央集権的な体制をつくる。	
.....	⑬
1510年 <u>三浦</u> の乱。 (j)	

問1 空欄(ア)に入る地名を, 次の中から1つ選びなさい。

- ① 五島列島 ② 巖島神社 ③ 壱岐・対馬 ④ 神埼荘
- ⑤ 平戸

問2 下線部(a)重源は、のちに東大寺復興事業を担うことになる。その際、重源はどのような役職に任命されたか。次の中から1つ選びなさい。

- ① 僧録 ② 政所別当 ③ 恩賞方 ④ 勸進職 ⑤ 番匠

問3 下線部(b)栄西は建仁寺の開山となるが、次のうち、建仁寺創建を援助し開基となったのは誰か。1人選びなさい。

- ① 藤原兼実 ② 藤原泰衡 ③ 源頼家 ④ 源実朝
⑤ 北条時政 ⑥ 北条義時

問4 渡宋を計画して、下線部(c)陳和卿に造船を命じたものの、翌年断念したのは誰か。次の中から1人選びなさい。

- ① 後鳥羽上皇 ② 後白河上皇 ③ 藤原泰衡 ④ 源頼家
⑤ 源実朝 ⑥ 平宗盛

問5 下線部(d)俊苧が復興し、天台・真言・禅・律兼学の道場となり、のちに天皇も葬られるようになったのは何という寺院か。次の中から1つ選びなさい。

- ① 南禅寺 ② 東福寺 ③ 興福寺 ④ 泉涌寺 ⑤ 西大寺

問6 空欄(イ)(ウ)(エ)に入る僧を、次の中からそれぞれ1人ずつ選びなさい。

- ① 絶海中津 ② 春屋妙葩 ③ 東巖慧安 ④ 夢窓疎石
⑤ 一山一寧 ⑥ 無学祖元 ⑦ 義堂周信 ⑧ 蘭溪道隆

問7 次のカ～コは、この年表のどこに入る出来事か。それぞれ、年表中の①～

⑬から1つずつ選びなさい。

カ 幕府が明使の入京を拒否し、日明貿易が一時中断した。

キ 蒙古に圧迫された金が滅亡した。

ク 中山王尚巴志が三山を統一し、琉球王国が成立した。

ケ 幕府が、建長寺造當料船を元に派遣した。

コ 道元が入宋した。

問8 次の史料は、年表中のどの国書(の一部)か。(e)～(i)から1つ選びなさい。

[史料]

(上略)朕惟ふに、^{いにしへ}古より小国の君は境土相接すれば、尚ほ講信修睦に務む、^{いわ}況んや我が祖宗、天の明命を受け、^{えんゆう}区夏を奄有す。^{かほう}遐方異域の威を畏れ徳に懐く者、^{なつ}悉く数うべからず。(中略)^{わが}冀わくば今より以往、問を通じ好^{よしみ}を結び、以て相に親睦せん。且つ聖人は四海を以て家と為す。相に通好せざるは、^あ豈に一家の理ならんや。兵を用ふるに至りては、^{なれ}夫れ孰か好む所ならん。王其れこれを図れ。(下略)

問9 空欄(オ)に入る人物は誰か。次の中から1人選びなさい。

- ① 菊池武光 ② 足利義詮 ③ 細川頼之 ④ 今川了俊
⑤ 懷良親王 ⑥ 足利直冬

問10 次の史料は、ある国書の一部である。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

〔史料〕

日本准三后某、書を大明皇帝陛下に上^{たてまつ}る。日本国開闢^{かいびやく}以来、聘問^{へいもん}を上邦に通ぜざること無し。某、幸にも国鈞^とを乗り、海内に虞^{おそ}れ無し。特に往古の規法に遵ひて、肥富をして祖阿に相副へしめ、好を通じて方物を献ず。(中略)海島に漂寄^{いくばく}の者の幾許人を搜尋し、これを還す。某誠惶誠恐、頓首々々謹言。

- (1) これは、いつ送られた国書か。年表中の①～⑬から1つ選びなさい。
- (2) この国書とともに明の皇帝に献上された主要な物品は何か。次の中から3つ選びなさい。

- ① 人参 ② 絹織物 ③ 砂糖 ④ 刀剣 ⑤ 塩
⑥ 金 ⑦ 扇 ⑧ 陶器 ⑨ 米 ⑩ 大蔵経

問11 下線部(j)三浦とはどこか。次の中から3カ所すべて選びなさい。

- ① 泗川 ② 蔚山 ③ 漢城 ④ 濟州 ⑤ 釜山 ⑥ 順天
⑦ 慶州 ⑧ 薺浦 ⑨ 木浦

問12 勘合貿易により、明の皇帝から下賜され日本に輸入された代表的な物品は何か。次の中から3つ選びなさい。

- ① 人参 ② 生糸 ③ 銅錢 ④ 刀剣 ⑤ 塩 ⑥ 硫黄
⑦ 扇 ⑧ 磁器 ⑨ 麦 ⑩ 大蔵経

3 次の文章は、江戸時代の絵画について説明したものである。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

18世紀半ば以降、絵画には様々な画風が生まれた。とくに庶民のなかで(A)が流行した。多色刷りで極彩色の版画である(B)を創作したのは、『弾琴美人』などを描いた(ア)である。(B)の技術や出版業の発達により、(A)は黄金時代を迎えた。寛政期には、『婦女人相十品』など多くの美人画を描いた(イ)や、役者絵・相撲絵を人物の上半身や顔のみを大写しにして描く(C)の手法を駆使して描いた(ウ)の『大谷鬼次の奴江戸兵衛』『市川鯉蔵』などの作品が有名である。天保期には風景版画が流行し、『富嶽三十六景』の(エ)、『東海道五十三次』の(オ)が人気を博した。

また、伝統的な絵画では狩野派や土佐派が行き詰まりをみせたが、18世紀後半には明や清の(D)の影響をうけた(E)と呼ばれる画風がおこり、(カ)や(キ)がこの画風を大成した。(カ)による『釣便図』などの『十便図』と(キ)の『宜秋図』などの『十宜図』からなる合作『十便十宜図』は有名である。化政期以後、豊後竹田の出身で、江戸で谷文晁に学び、頼山陽らとも交流のあった(ク)、同じく谷文晁に学び、『一掃百態』を描いた(ケ)などがでて全盛期を迎えた。『雪松図屏風』や『保津川図屏風』などを描いた京都の(コ)やその弟子たちは、洋画の遠近法を取り入れて日本的な(F)の様式をつくりあげた。(G)も、近世初期に南蛮人がもたらしたのち一時途絶えていたが、蘭学の隆盛とともに伝えられ、『不忍池図』や『相州鎌倉七里浜図』の(サ)、『浅間山図屏風』の(シ)らが代表である。また(サ)は、平賀源内に学んで日本における(H)の創始者となった。

問1 文中の空欄(A)～(H)に入る適切な語句を、次の中から1つずつ
選びなさい。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| ① 錦絵 | ② 大和絵 | ③ 螺鈿 | ④ 色絵 | ⑤ 写生画 |
| ⑥ 唐絵 | ⑦ 西洋画 | ⑧ 蒔絵 | ⑨ 大首絵 | ⑩ 似絵 |
| ⑪ 銅版画 | ⑫ 草紙 | ⑬ 南画 | ⑭ 和様 | ⑮ 浮世絵 |
| ⑯ 濃絵 | ⑰ 文人画 | ⑱ 風刺画 | ⑲ 頂相 | ⑳ 屏風絵 |

問2 文中の空欄(ア)～(シ)に入る人名を、次の中から1人ずつ選びな
さい。

- | | | |
|---------|------------|---------|
| ① 亜欧堂田善 | ② 青木繁 | ③ 円山応挙 |
| ④ 菱田春草 | ⑤ 歌川(安藤)広重 | ⑥ 高橋由一 |
| ⑦ 葛飾北斎 | ⑧ 橋本雅邦 | ⑨ 喜多川歌麿 |
| ⑩ 海北友松 | ⑪ 司馬江漢 | ⑫ 黒田清輝 |
| ⑬ 池大雅 | ⑭ 長谷川等伯 | ⑮ 田能村竹田 |
| ⑯ 俵屋宗達 | ⑰ 渡辺華山 | ⑱ 久隅守景 |
| ⑲ 東洲斎写楽 | ⑳ 新海竹太郎 | ㉑ 与謝蕪村 |
| ㉒ 島村抱月 | ㉓ 鈴木春信 | ㉔ 狩野永徳 |

問3 あとの絵画(a)～(e)は誰の作品か。次の中から1人ずつ選びなさい。

- | | | |
|---------|------------|---------|
| ① 亜欧堂田善 | ② 青木繁 | ③ 円山応挙 |
| ④ 菱田春草 | ⑤ 歌川(安藤)広重 | ⑥ 高橋由一 |
| ⑦ 葛飾北斎 | ⑧ 橋本雅邦 | ⑨ 喜多川歌麿 |
| ⑩ 海北友松 | ⑪ 司馬江漢 | ⑫ 黒田清輝 |
| ⑬ 池大雅 | ⑭ 長谷川等伯 | ⑮ 田能村竹田 |
| ⑯ 俵屋宗達 | ⑰ 渡辺華山 | ⑱ 久隅守景 |
| ⑲ 東洲斎写楽 | ⑳ 新海竹太郎 | ㉑ 与謝蕪村 |
| ㉒ 島村抱月 | ㉓ 鈴木春信 | ㉔ 狩野永徳 |

(a)



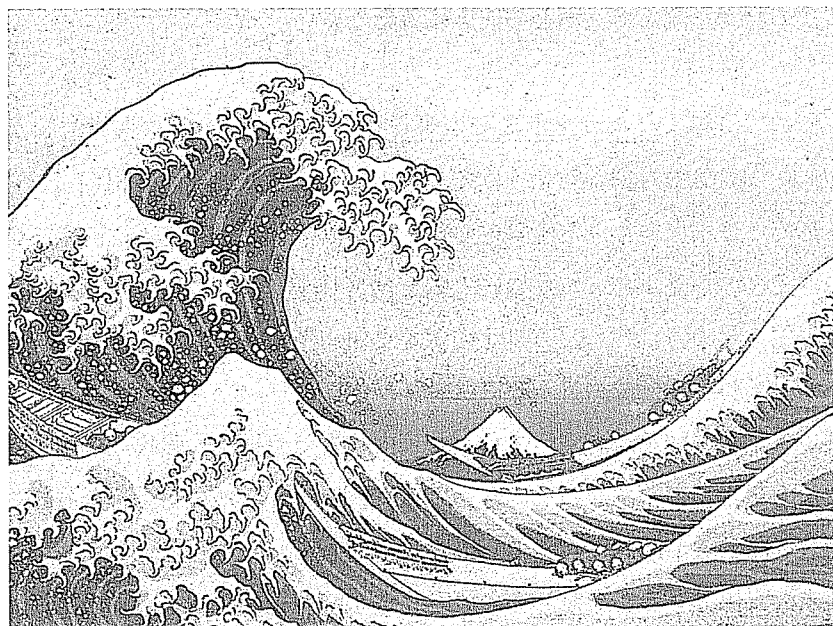
(b)



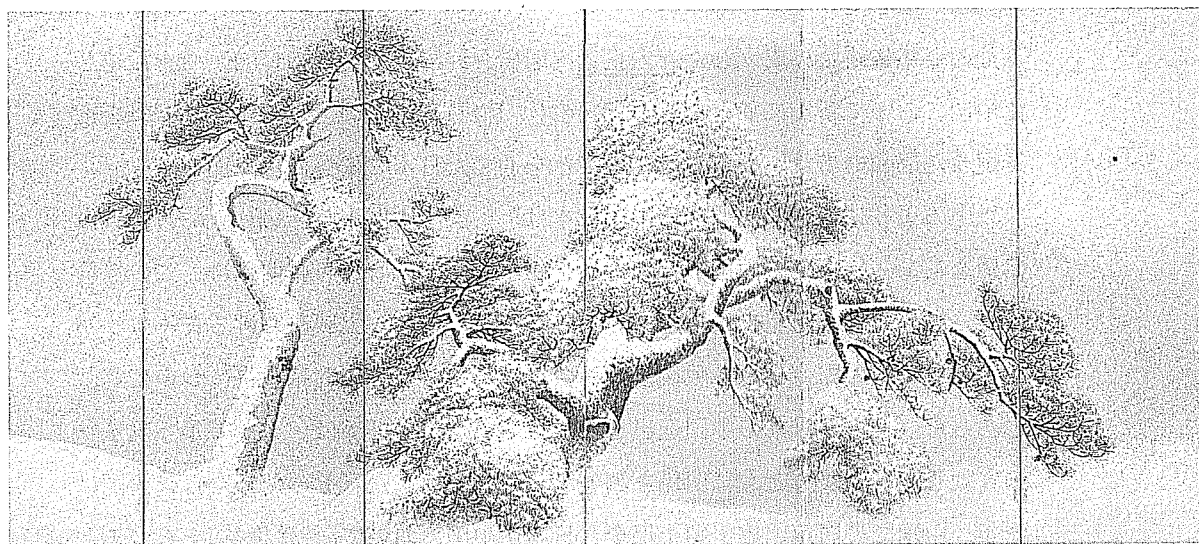
(c)



(d)



(e)



4

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(ア)年、バルカン半島での事件^(a)を契機にして第1次世界大戦が勃発したが、(あ)の対独宣戦をうけて、時の(A)内閣での外相(B)が主導する形で、日本は同年、ドイツへの宣戦にふみきった。日本軍は同年、中国におけるドイツの権益があった(い)省を攻撃し、ドイツの根拠地であった(う)を占領する一方、(え)以北のドイツ領南洋諸島にも進攻し、接收した。

その余勢をうけて、日本政府は翌年、中国の(C)政権に対して、中国内のドイツ権益の継承、南満州・(お)内蒙古での権益の強化、中国本土における政治的諸権利の承認などを内容とする「二十一か条の要求」を行なった。そして、受入れを渋る中国側に対して、日本政府は同年(イ)月、最後通牒を出して、要求の大部分をのませた。そのこと、そして外相に対する内外の批判は強く、たとえば当時の「元老」^(b)の筆頭的存在であった(D)は、外相の手法を強く嫌い、両者は対立した。

その翌年に新たに成立した寺内正毅^(c)内閣においては、特使の(E)を派遣して中国において新たにできた北方軍閥の(F)政権との合意の結果、採算を度外視した巨額の借款がなされ、このことを通じた日本の権益確保を図った。

以上のように状況が展開する中、日本は(A)内閣の時、第(ウ)次日露協約を結び、極東での両国の特殊権益を相互に再確認し、日露関係は、この協約によって実質的な同盟にまでいたった。また、日本は、大戦におけるヨーロッパの主要な味方の国ぐにとも戦後の講和会議の際のお互いの利権獲得について承認しあった。一方、日本の中国進出を警戒していたアメリカは(エ)年、ドイツに宣戦し、日米双方ともに関係を調整する必要が生じた。そのため、日米両国は同年、中国での門戸開放・領土保全と日本が中国において「特殊権益」をもつことを承認しあう石井・ランシング協定を結んだ。

一方、日本と同盟関係に入っていたロシアでは大戦の長期化とその負担に耐えかねて、革命が起き、帝政が崩壊したが、新たにできた臨時政府は大戦への参戦を継続したため、それへの反発からボリシェヴィキが臨時政府を倒し、世界初の社会主義政権を成立させた。そして、この社会主義政権は翌年、独逸と単独で講

和し、大戦から離脱した。

このことによる東部戦線の崩壊、社会主義政権への反発などからヨーロッパの主要「連合国」は革命で混乱しているロシアに干渉戦争をしかけ、日米に出兵を求めた。そして、寺内内閣は、アメリカが(か)軍の救出を名目とする共同出兵を要請してきたのをうけて、1918年(オ)月、シベリア・北満州への出兵を決定した。大戦の終結をうけて、列国は干渉戦争・出兵を終えるが、日本だけは、(カ)年まで出兵を続け、このことへの列国の反発は強くなった。

問1 文中の空欄(A)～(F)に当てはまるもっとも適切な人名を、次の中から1つずつ選びなさい。

- | | | | |
|--------|---------|--------|----------|
| ① 原敬 | ② 小村寿太郎 | ③ 孫文 | ④ 山県有朋 |
| ⑤ 馮国璋 | ⑥ 段祺瑞 | ⑦ 井上馨 | ⑧ 山本権兵衛 |
| ⑨ 勝田主計 | ⑩ 宮崎滔天 | ⑪ 大隈重信 | ⑫ 目賀田種太郎 |
| ⑬ 松方正義 | ⑭ 西園寺公望 | ⑮ 林董 | ⑯ 曹汝霖 |
| ⑰ 加藤高明 | ⑱ 渋沢栄一 | ⑲ 徐世昌 | ⑳ 西原亀三 |
| ㉑ 李鴻章 | ㉒ 桂太郎 | ㉓ 袁世凱 | ㉔ 張作霖 |

問2 文中の空欄(あ)～(か)に当てはまるもっとも適切な語句を、次の中から1つずつ選びなさい。

- | | | | |
|-------------|--------|--------|---------|
| ① フィンランド | ② 青島 | ③ 奉天 | ④ フランス |
| ⑤ 南部 | ⑥ 河北 | ⑦ 北回帰線 | |
| ⑧ チェコスロヴァキア | ⑨ 済南 | ⑩ イギリス | |
| ⑪ 煙台 | ⑫ 北部 | ⑬ 江蘇 | ⑭ 北緯5度線 |
| ⑮ オランダ | ⑯ 威海 | ⑰ 赤道 | ⑱ 西部 |
| ⑲ バルト3国 | ⑳ 山東 | ㉑ ベルギー | ㉒ ポーランド |
| ㉓ 東部 | ㉔ 南回帰線 | | |

問3 文中の下線部(a)～(c)の項目にもっとも関係が深く、かつ内容が正しい事柄を、次の中から1つずつ選びなさい。

- ① 法律上、明文化されていた。
- ② 彼は、薩摩藩の出身であった。
- ③ 当初の者たちに追加してその立場におかれる者が出なかった。
- ④ 事件は、ベオグラードで起こった。
- ⑤ 彼は、のちに暗殺された。
- ⑥ 事件は、オーストリアの帝位継承者夫妻に対して起こされた。
- ⑦ 当初は、7人がそのようにみなされた。
- ⑧ 事件による死亡者は、かろうじて出なかった。
- ⑨ 彼は、首相就任の直前までは台湾総督を務めた。
- ⑩ 事件は、7月の初めに起こった。
- ⑪ 全員が、薩長の出身者であった。
- ⑫ 彼は、首相を2年弱務めた。

問4 文中の空欄(ア)～(カ)に当てはまる数字は、どれか。もっとも適切なものを、次の中から1つずつ選びなさい。なお、同じものを何回選んでもよい。

- ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 5 ⑥ 6
- ⑦ 7 ⑧ 8 ⑨ 9 ⑩ 10 ⑪ 11 ⑫ 12
- ⑬ 1912 ⑭ 1913 ⑮ 1914 ⑯ 1915 ⑰ 1916 ⑱ 1917
- ⑲ 1918 ⑳ 1919 ㉑ 1920 ㉒ 1921 ㉓ 1922 ㉔ 1923

